

# 南アルプス市立白根巨摩中学校 学校関係者評価書（前期）

白根巨摩中学校 学校関係者評価委員会

令和4年9月6日作成

## 第1回 学校関係者評価委員会

実施日 令和4年9月5日（金） 午後5時～

会 場 白根巨摩中学校 校長室

参加者 学校関係者評価委員 5名（五十音順）  
芦澤 秀幸 飯嶋 久 飯田照男  
久保田直美 進藤明子

学校職員 4名  
浅利 司（校長） 内藤大輔（教頭）  
中込幸人（教務主任） 石川孝之（生徒指導主事）

### 1 学校から提案された内容

- （1） 学校関係者評価の意義について
- （2） 白根巨摩中学校学校関係者評価委員会会則の確認
- （3） 委員長・副委員長の選任
- （4） 1学期の学校評価について
  - ① 自己評価結果についての説明
  - ② 生徒の現状についての説明

### 2 評価されたおもな内容

領域別・評価項目別の自己評価考察について評価委員が考察検討

## 学校関係者評価

### 1 全体評価

依然コロナ禍であり、感染症防止の対策を取りながらも、総合的な平均が4.5（A-5点 B-4点 C-2点 D-1点として平均を出したもの）となったことは、教職員の各々の意識や実践が高い水準を保っていると評価できる。校務支援システムの導入、南アルプス市指定「学びの質を高める授業づくり推進事業」に係る公開授業研究会の開催、1人1台端末の活用等、多くの新しい取組がある中、「家庭学習の定着」、「授業でのパソコン有効活用」、「部活動の指導」、「合唱指導」、「小中一貫教育」の5点の課題を見据え、教職員が焦点をしばらく同僚性を発揮する必要がある。

生徒のアンケート結果からは、きまりを守ることや、行事や日常の諸活動への意識が高い。友達とともに、良い環境の中で充実した学校生活を送っていることが伺える。

## 2 自己評価書に見る課題と対応について

### ○学校運営

- ・本校の先生方は、教職員間の目標意識の共有、協力体制が良好である。これから進められる部活動の地域移行等も考え、教職員の働き方改革も進めながら、教育活動を行ってほしい。
- ・先生方はきめ細やかな指導を基本に、生徒の気持ちを大切にし、熱意をもって学校運営にあたっている様子が伺える。校則の見直しや制服の追加についても生徒の意見を積極的に取り入れてほしい。
- ・小中の連携についても、さらに小学校と中学校間での連携を深め、研究をし、児童生徒のために理解を深めてほしい。

### ○教科指導

- ・1人1台端末が導入され、リモートの授業を受けたり、デジタル教科書を活用したりと学習環境が変わってきている。先生方も研修等を積み、今の教育環境を有効に活用してほしい。
- ・家庭学習が課題となっているが、長年続けてきた「タイアップチャレンジ」等成果が表れている。今後も各家庭などの事情も考慮しながら工夫して進めてほしい。

### ○生徒指導

- ・生徒自身がきまりや約束を守っているという自覚をもっている。生徒会の4つのこだわりも定着しており、生徒自身で自主的に問題を解決していこうという態度が育ってきていることが伺える。
- ・定期的に行われている、アンケートや関係者の会議により、情報の共有が図られ、諸問題の未然防止が行われている。教職員の積極的な声掛け、相談も大切である。

### ○特別活動

- ・コロナ禍であるが、生徒は学園祭等行事に一生懸命取り組んでいる。生徒の気持ちを大切にし、対策を万全にした上で、学校生活を充実したものにしていただきたい。
- ・子育て世代や専門ではない教職員の「部活動の指導」は大変な苦勞が伴うと思う。これからの部活動のあり方の検討の中で、教職員の多忙化を解消できればと思う。
- ・合唱は白根巨摩中学校の伝統である。コロナ禍であり、先生方の負担も大きいと思うが、工夫して行ってほしい。

### ○健康安全・その他

- ・感染症対策、熱中症対策等きめ細かい対応に感謝している。今後も保護者や地域の連携を密にし、皆が同一歩調を取れるよう健康・安全への取組を引き続きお願いしたい。
- ・LGBTQを意識し、全国的に女子の制服のパンツ（利用可）が拡大している。白根巨摩中も今後制服の追加を検討中だが、生徒や保護者の意見を聞いて進めてほしい。

## 3 特記事項

なし

記載責任者

白根巨摩中学校学校関係者評価委員会    委員長    芦澤秀幸  
副委員長    進藤明子

